

## 中津川市地域医療実習を終えて

千葉大学 5 年生 島田 遼

今回の実習で特に印象に残っていることは、診療所・デイケア・市役所・宿の全ての方々が、大変優しくお世話をしてくださり、そしてとても美味しいご飯をいただけたこと。ご年配の方や障害のある方々と、初めてとても長い時間を一緒に過ごし、沢山のお話をさせていただけたことがあります。

診療所では、医学的な処置や治療が一番の仕事なのではなく、疾患を未然に予防する、患者の生活を常に把握しておくということが一番なのだと、実習を通して学びました。大学病院の様には、設備も医療需要もない中で、診療所が担うのは、患者さんが病気になる前にその予兆にいち早く気づくこと、そして老化による衰えがなるべく少なくなるように日々働きかけていく。そういった、わかりやすく加療するわけではないが、超高齢化社会の日本においてとても重要な役割があるのだと感じた。

そして、診療所やデイケアにて年配の方々と長い時間過ごさせていただく中で、どのようにコミュニケーションをとっていけばいいのか、少しだけですが学ぶことができました。音楽の力って偉大だなと思います。

市の方の、行程調整、各施設の方々にご連絡いただいたこと。宿のおかみさんが、とても美味しい料理とともに暖かく迎えてくださったこと。本当に、本当に、感謝しております。ありがとうございました。